

・はじめに

大学の前学期が終了しました。年末のイリノイ周辺はイリノイ大学周辺の店は軒並み休業になってしまい、学生もほとんど帰省してしまうため街には全く人がいない状態になります。そのような状況で私もすることが特にないので、今月は「寝る、起きる、食べる」を繰り返すマシーンと化していました。しかし何も無かったからといって報告書が白紙という訳にもいかないのです。今月はイリノイ大学近辺における食事環境についてまとめました。私は偏食が服を着て歩いているような人間なので、一般的な意見と大いに乖離している箇所もあるかと思いますがご了承ください。

・イリノイ大学近辺のレストラン事情

主に食事をとる場合は、イリノイ大学近辺にある East Green Street 上のレストランに行くことが多いです。レストランの種類は店舗の多い順に、中国料理・韓国料理・タイ料理・メキシコ料理・イタリア料理といった感じです。中国料理が圧倒的に多い理由として1つ考えられるのは、この地区に住んでいる人中国人の割合が非常に多いことが挙げられます。現に町中を歩いていると様々な言語の会話が耳に入ってきますが、英語と同じくらいの頻度で中国語を耳にします。こちらへんは流石、多国籍国家アメリカといった感じです。

・アメリカ人好みの味

中国料理の味は大きく中国人好みとアメリカ人好みの2種類に分類することができます。割合としては後者の店の方が多く、英語学校で知り合った中国人は「この近辺には中国料理店が多いけど、どの店も本当にマズイ」と言っていました。どうやらほとんどのお店でアメリカ人（アメリカ育ちの中国人を含む）が好むような味付けをしている傾向にあるようです。この点については、私も日本食店において同様の傾向を感じています。実はイリノイ大学近辺には日本料理店が一軒だけ存在しているのですが、出てくる料理は日本料理ではない何かで、味も日本で食べるものと大きく異なっています。恐らくこれがアメリカ人好みの味付けということなのでしょう。

・アメリカのお米

お米は日本人にとって命です（と私は思います）。アメリカでもお米は比較的メジャーな食べ物です。しかし日本と大きく異なる点は非常にパサパサしていることです。私は少しパサパサしているご飯の方が好きですが、アメリカのご飯は許容度を超えています。アメリカでもご飯を片手におかずを食べる場面が比較的多いですが、日本人にとって（少なくとも私にとっては）これらは非常に苦痛です。何せ白いご飯がおいしくないのですから。めちゃくちゃ悲しいです。よって私はお米類のメニューを注文するときは出来る限りチャーハンを注文しています。チャーハンの場合、炒める際に油を混ぜるためご飯のパサパサを軽減することができます。

・私の食生活

私は偏食なこともあって食事には非常に苦労しています。これは完全に私の感覚ですが、レストランを100点満点で点数付けした場合、日本のお店は全て80点以上です。よって日本でのレストラン選びは、「89点のお店 or 90点のお店」というような非常に微細な点数付けをします。しかしアメリカのレストランは10点~70点のお店がほとんど、どんなにおいしくても80は越えられないという風に個人的には感じています。今まで当たり前食べてきた日本の食事が本当に素晴らしいものであったことを人生で初めて気づかされました。日本食がナンバー1かつオンリー1です。とりあえずこちらで生活するにあたって、食事を摂らない訳にはいかないのです。私は選りすぐりした何軒かのお店を順番にまわっています。

因みに自炊に関してですが寮で自炊することは難しいです。寮内には1つ2つキッチンがありますが自由には使うことができませんし、寮内にはカセットコンロなどの調理器具などを持ち込むことが禁じられているため、自室で料理することは不可能です。一応冷蔵庫と電子レンジは各部屋に備えられているので、冷凍食品ぐらいなら食べられます。

・おすすめのお店

行きつけのお店をいくつか紹介します(図1, イリノイ大学周辺の地図とレストランの位置).

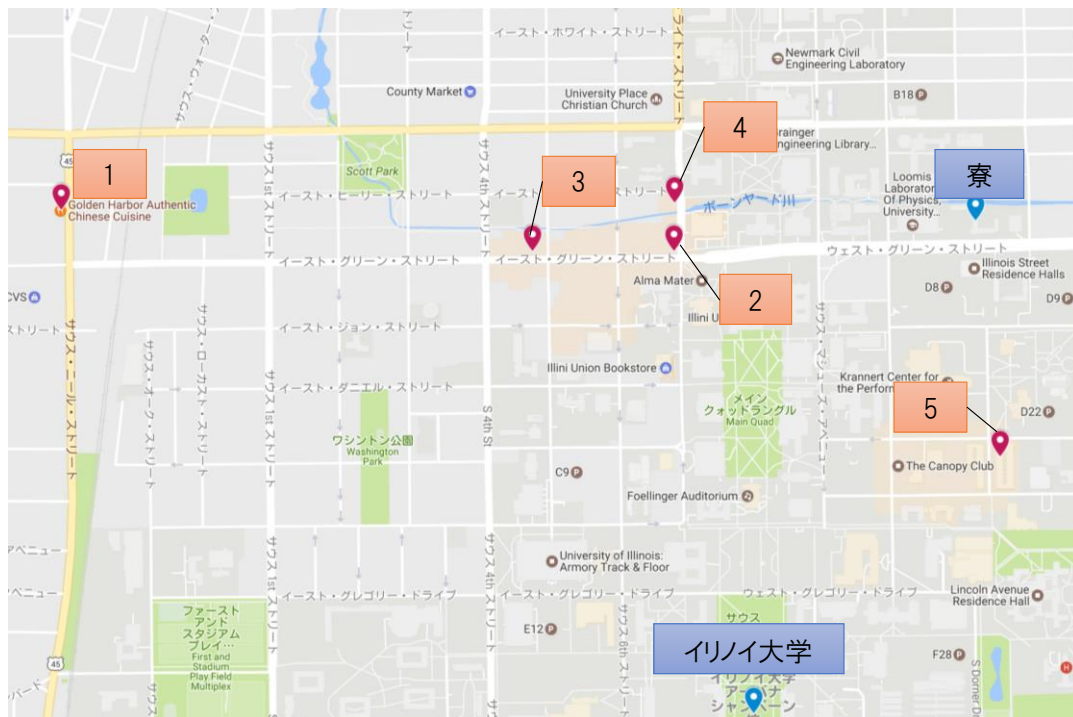


図1 イリノイ大学周辺のレストランマップ

1. Golden Harbor Authentic Chinese Cuisine

イリノイ大学のあるアーバナ・シャンペーン地区において、私が最も気に入っている中国料理店です。おすすめはチャーハンです(図1)。味の良さ、量の多さ、メニューの多さ、注文してから出てくるまでの速さなどにおいてナンバー1です。そして残念ながら値段の高さもナンバー1です。さらに加えて、店に行くまでの道中で時々銃撃戦が起こる場所が存在するので、日が暮れてしまった場合は到達難度・帰還難度もナンバー1です。また最近、私たちの間では注文してから出来上がる速度が速すぎるため冷凍食品疑惑が浮上しています。けれども美味しいは正義です、私は気にしません。



図2 combination fried rice

2. Panda Express

このお店は East Green Street の端っこにあるお店で、キャンパスから非常に近いので通いやすいお店の1つです。このお店の特徴として\$5~\$7 という比較的安い料金で2~4品の中華料理を適量食べることができることが挙げられます。このお店は外食において緑の野菜を摂取できるという点でも優れています。外食を比較的好くする方はお分かり頂けると思いますが、外食中心の生活ではなかなか緑の野菜(ブロッコリーやほうれん草など)を食べる機会が少ないため栄養が偏りがちです。そういうときこのお店にいけば適度に緑の野菜を摂取することが出来ます。

残念なポイントはお米です。この近辺のお店の中でもかなりパサパサした部類に入ります。よって私はいつも店員に頼んで白米の代わりに焼きそばを皿に盛ってもらうようにしています。

3. Bangkok Thai and Pho 911

このお店はタイ料理屋です。このお店のおすすめポイントはチャーハン(図3)のコストパフォーマンスが非常に高いことです。もちろんアーバナ・シャンペーン地区においてチャーハンナンバー1は先ほど紹介させて頂いた Golden Harbor です。しかし Golden Harbor のチャーハンは非常に値段が高い等の理由で、とてもじゃありませんが毎日食べることは不可能です。そんなときはこの Bangkok Thai のチャーハンはリーズナブルかつ非常に美味であり、アメリカ生活における私の生命線といっても過言ではありません。これは私の勝手な意見ですが、お米を扱うアーバナ・シャンペーン地区にあるお店はこのお店の厨房を見学させてもらうべきではないかと考えています。それぐらいチャーハンの味付けは素晴らしいです。

私は週7日ほど通って、いつもチャーハンを注文しています。そのお陰で店長に完全に顔を覚えられたらしく、最近は私が注文を言わなくてもオーダーが通っています。(しかし年末~年始は休業日なため、最近は食べたくても食べられない状態が続いています。干上がりそうです。)



図3 chicken fried rice

4. Cravings

このお店の中国料理は全体的に量が多めです。おすすめは京醬肉絲と麻婆豆腐です(図4)。店内では無料でお茶を飲むこともできます。

また店長の奥さんは英語・中国語はもちろんそれに加えて日本語、韓国語、スペイン語などにも精通しています。よってアーバナ・シャンペーン地区で唯一日本語での注文が可能です。他にもメニューの詳細を日本語で質問できるので、はずれを引く確率も低い点も個人的には気に入っています。そこまで頻繁に通いつめてはいなかったのですが、日本人の来客が少ないこともあって顔を覚えられました。行った時はいつも日本語で世間話をしたり、関西弁を教えたりしています。



図4 京醬肉絲 (手前) と麻婆豆腐 (奥)

5. Bab Plus Korean Restaurant

韓国料理屋です。今回紹介するお店の中で唯一 East Green Street 上に存在しないお店です。このお店のご飯は近辺で珍しく、しっとり系の味付けです。また出てきた時点でご飯には少し塩もかかっています。このお店はアーバナ・シャンペーン地区のレストランの中で、味付けが日本のレストランと最も似ていると個人的に感じています。このお店で私はよくトンカツ (図5) を食べます。

私はこちらに来て初めて知ったのですが、日本のトンカツと韓国のトンカツは似て非なるものらしいです。韓国のトンカツは日本のものと異なり薄くて大きい肉が使用されています。どちらかというとかツレツに近い気がします。そして何故か味噌汁もついてきます。日本のトンカツ信者としては、もうすこしご飯やキャベツが欲しいところなのですが致し方ありません。

他のメニューにはビビンバやキムチ鍋等もあります。個人的に、イリノイ大学周辺の韓国料理店の中でも本店は独特なラインナップと味付けをしているお店だと思います。



図5 トンカツ

・最後に

何はともあれ、うどんが食べたい。

以上で報告を終わります